

行政視察 報告書

1 視察先

- ・大分県 大分市役所
- ・熊本県 玉名市役所

2 期 間

- ・平成29年7月25日(火)～26日(水)

「広報広聴委員会」

視 察 報 告 書

以下の通り視察の報告を致します。

1 会派名及び視察者名

- (1) 視察委員会：広報広聴委員会
- (2) 委員会視察者×8名
 - ・上坂月夫・川内賢幸・永山透・下山隆史・佐藤紀子・森りえ
 - ・福島勝郎・畑中ゆう子

2 視察先・テーマ及び日時

- (1) 視察1日目
 - ア 視 察 先：大分県 大分市役所
 - イ 視察テーマ：「市民との意見交換会について」・「議会広報誌の作成について」
 - ウ 日 時：平成29年7月25日（火） 14：00～15：30
- (2) 視察2日目
 - ア 視 察 先：熊本県 玉名市役所
 - イ 視察テーマ：「議会広報誌の作成について」
 - ウ 日 時：平成29年7月26日（水） 13：30～15：00

3 視察の内容

- (1) 市民との意見交換会（大分市役所）
 - ア 大分市議会基本条例
 - イ 市民意見交換会の概要
 - ・アンケート結果・広報要領・各会場の出席議員の状況
 - ウ 若年層との意見交換会の概要
 - ・意見交換会年度の実績・アンケート結果・その他
- (2) 議会広報誌の作成要領（大分市役所）
 - ア 議会報等発行の概要
 - イ 市議会だより編集フロー
 - ウ 市議会だより編集日程表
 - エ 一般質問の質問原稿作成要領
 - オ 大分市議会だより発行内規
 - カ 大分市議会だより見直しの経緯
- (3) 議会広報誌の作成要領（玉名市役所）
 - ア 玉名市議会報発行に関する申し合わせ
 - イ 議会だよりの概要
 - ウ 議会報編集特別委員会
 - エ 議会報スケジュール
 - オ 原稿執筆
 - カ 議会だよりの市民参加について

4 視察の感想（全般）

平成29年7月25・26日の2日間、広報広聴委員会で初めて視察を実施した。大分市市役所においては、「市民との意見交換会について」・「議会広報誌の作成要領」を玉名市役所においては、「議会広報誌の作成要領」についてを主視察テーマ（調査項目）として、担当職員・担当議員等から懇切丁寧な説明を受けた。

大分市議会の意見交換会は、参加者の年代層やアンケート結果の分析に基づき、一般市民と若年層に区分して実施するとともに、意見交換会開催の広報活動はあらゆる手段を活用している。大分市議会の「市議会だより」は、全国の議会報コンクールで、数回「最優秀賞」「優秀賞」を受賞している。

玉名市議会の「市議会だより」は、「表紙の題字」を小・中学校生の作品に依頼する等市民と一体化した、柔軟性・自主裁量を活かした、広報誌であると感じた。

各市での視察の細部については、各委員の成果・感想文等による。今回の行政視察は都城市民の皆様「身近な議会」を目指す、広報広聴委員会の施策へ反映させる成果を得たものと思料する。

5 視察の成果及び市政への反映事項等

(1) 視察の成果

ア 市民との意見交換会：「大分市役所」

(ア) 市民意見交換会の広報要領

- a 市報に開催概要を掲載する、ポスターを作成し庁舎内・地区公民館・大学・大分市公共掲示板に掲示しPRしている。
- b 街頭ビラ配り：開催概要を掲載したチラシ（ポケットティッシュ付き）を街頭で配布する。
- c ケーブルテレビ・OAB「テレビスポット」庁舎内のモニターでPRしている。
- d 新聞の無料イベント告知枠・民放番組のイベント告知枠でPRしている。

(イ) 若年層との意見交換会の実施

- a 若年層の政治参加意識を喚起する目的で、大学・高校・専門学校等で実施。
- b 特にテーマは設けず「フリーな意見交換会」としている。
- (ウ) 前年度の意見交換会の内容（意見・要望等）を回答・答弁する形式で実施。

イ 議会広報誌（市議会だより）の作成要領

(ア) 大分市議会の作成概要

- a 各会派から1名の委員をもって8名の広報委員会を構成し作成する。
- b 「議会だより」発行、平成29年度予算：19,779,288円。
- c 編集フロー
 - ・「議会開会前」：編集スケジュールの作成・レイアウト案の作成・編集日程調整。
 - ・「定例会中」：議員一般質問原稿作成・事務局で校正案の作成。
 - ・「定例会後」：2回の広報委員会を開催し、事務局の案を協議・校了する。

(イ) 玉名市議会の作成概要

- a 議会報編集特別委員会（各会派から1名）を設置して作成する。
- b 玉名市議会の「議会だより」発行、平成29年度予算：2,937,000円
- c 編集フロー（発行まで4回の委員会の開催）
 - ・第1回：紙面構成の協議・記事担当委員の決定（一般質問通告後に開催）
 - ・第2回：表紙の写真・1回委員会で不決定事項の協議（一般質問最終日）
 - ・第3回：初校正作業：委員・事務局・印刷業者で協議（会期終了後）
 - ・第4回：再校正作業：同 上
- d 「議会だより」表紙の題字は、毎回、小中学生の作品による。

ウ その他

大分市高校生議会の開催：平成27年6月の公職選挙法等の一部改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことにより、若者の政治参加意識を喚起する目的で「大分市高校生議会」を開催している。

(2) 市政への反映事項等

ア 市民との意見交換会

(ア) 意見交換会開催の広報要領

- ・ポスターの作成・街頭ビラの配布・ケーブルテレビ・OABテレビスポット
- ・モニター広告・新聞の無料イベント告知枠・民放番組のイベント告知枠等

(イ) 一般市民と若年層と区分した意見交換会の開催

(ウ) 高校生議会の生徒と市議員との意見交換会の開催

イ 議会広報誌（市議会だより）

(ア) 市民の皆様へ「読まれる広報誌」「市民協力の広報誌」の作成要領の検討。

(イ) 広報誌「市議会だより」の目的に沿った企画・編集の必要性を再認識。

- ・議事公開・経過広報・議会機能の発揮・読者への配慮・住民参加

(ウ) 読みやすく、解りやすい、編集技術・要領の検討。

- ・表紙・写真・魅力ある見出し・レイアウト・配色等

ウ その他

- ・大分市高校生議会の開催：若い世代への政治参加意識の喚起手段。

6 添付資料

- (1) 研修視察の状況等・・・・・・・・別紙第1
- (2) 意見交換会開催の街頭ビラ・・・・・・・・別紙第2
- (3) 各議員視察感想文等・・・・・・・・別紙第3

研修視察の状況

大分市役所



玉名市役所



市民意見交換会

市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して、意見交換会を開催します。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

あなたの声をお聞かせください



平成28年

8月22日(月)～27日(土)

午後7時～午後8時30分

※鶴岡市民政センターは、午前10時～午前11時30分、大分西部公民館は、午後5時～午後6時30分

開催期間
時間

| 開催日 | 場 所 | 開催日 | 場 所 |
|--------|--|--------|---------------------------------|
| 22日(月) | 鶴岡市民政センター コンパルホール 坂ノ市市民センター | 25日(木) | 明治明野公民館 野津原市民センター 大分南部公民館 |
| 23日(火) | 佐賀岡市民センター 大南市民センター 大分東部公民館 南大分公民館 | 26日(金) | 大在市民センター 大分西部公民館 |
| 24日(水) | | 27日(土) | 鶴岡市民政センター |

- テ ー マ
- 1. 議会からの報告 / ● 議会改革の取り組み
 - 昨年の市民意見交換会における意見・質問等への対応
 - 2. 市議会及び市政への意見

【問い合わせ先】 議会事務局 議事課 ☎537-5645

大分市議会 市民意見交換会

開催日・場所・出席予定議員一覧表

| 開催日 | 場 所 | 出席予定議員 |
|---------------------|---|---|
| 8月22日 (月) | 鶴岡市民政センター (大会議室) | 倉掛賢裕、安部剛祐、野尻哲雄、板倉永紀、足立義弘、松本充浩、堀嘉徳、広次忠彦、高野博幸、安東陽吉、泥谷郁、今山裕之 |
| | コンパルホール (300会議室(3階)) | 桑野恭義、福岡智幸、井手口良一、斎藤由美子、福岡健治、宮邊和弘、堤智通、スカルリーパー・エイジ、河内正道、高橋弘巳、橋本敬広 |
| 8月23日 (火) | 坂ノ市市民センター (大会議室) | 二宮博、仲道俊寿、阿部剛四郎、帆秋誠悟、指原健一、仲家孝治、徳丸修、国宗浩 |
| | 佐賀岡市民センター (研修室1・2) | 二宮博、永松弘基、阿部剛四郎、松本充浩、井手口良一、松下清高、スカルリーパー・エイジ、仲家孝治、国宗浩 |
| 8月24日 (水) | 大南市民センター (大会議室) | 田島寛信、藤田敬治、野尻哲雄、福岡智幸、広次忠彦、帆秋誠悟、日小田良二、寂本正道、今山裕之 |
| | 大分東部公民館 (会議室) | 長田教雄、松本充浩、帆秋誠悟、松下清高、三浦由紀、スカルリーパー・エイジ、大石祥一、寂本正道、河内正道、川邊浩子、佐藤和彦 |
| 8月25日 (木) | 南大分公民館 (研修室1・2) | 野尻哲雄、板倉永紀、足立義弘、堀嘉徳、福岡智幸、井手口良一、福岡健治、宮邊和弘、高野博幸、安東陽吉、橋本敬広、泥谷郁、今山裕之 |
| | 明治明野公民館 (視聴覚室) | 仲道俊寿、長田教雄、松本充浩、福岡智幸、井手口良一、斎藤由美子、帆秋誠悟、日小田良二、堤智通、大石祥一、川邊浩子 |
| 8月26日 (金) | 野津原市民センター (多目的ホール) | 二宮博、藤田敬治、野尻哲雄、板倉永紀、足立義弘、堀嘉徳、広次忠彦、宮邊和弘、安東陽吉、藤田良行、スカルリーパー・エイジ、泥谷郁 |
| | 大分南部公民館 (研修室2・3) | 倉掛賢裕、田島寛信、安部剛祐、足立義弘、仲道俊寿、松本充浩、福岡智幸、井手口良一、広次忠彦、斎藤由美子、スカルリーパー・エイジ |
| 8月27日 (土) | 大在市民センター (大会議室) | 松木大輔、阿部剛四郎、堀嘉徳、帆秋誠悟、日小田良二、指原健一、仲家孝治、寂本正道、徳丸修、国宗浩 |
| | 大分西部公民館 (多目的ホール) | 安部剛祐、長田教雄、桑野恭義、松本充浩、井手口良一、福岡健治、宮邊和弘、高野博幸、安東陽吉、堤智通、河内正道、橋本敬広 |
| 鶴岡市民政センター (大会議室) | 松木大輔、永松弘基、仲道俊寿、福岡智幸、広次忠彦、斎藤由美子、帆秋誠悟、仲家孝治、寂本正道、徳丸修、高橋弘巳、川邊浩子、国宗浩 | |

※出席議員の掲載は、議席番号順です。

広報広聴委員会行政視察報告書（感想等）

委員名 川内 賢幸

1 視察の感想

大分県大分市議会では、平成 23 年、平成 25 年、平成 27 年に議会報コンクールにおいて最優秀賞を受賞しており、紙面は全頁カラーで作成されており親しみやすい印象だった。

作成については、担当の職員が一人おり、紙面レイアウトなどを提案し校正作業を進めていた。その回数は、2 回であり本委員会の開催数 5 回よりも少ないものであった。

また、議会報告会については、毎年全地区で開催するとともに、若者との意見交換会として学校単位で開催をしていた。

広報については、議員各位が地元を中心に活動を行い、ポスター貼りや街頭ビラ配りをするなど積極的に広報活動をしていた。

わかりやすく見やすい紙面づくり、積極的な広報活動など今後の取り組みの参考になった。

熊本県玉名市では、議会報告会は行われていないが、市議会だよりについては、議員各位が責任を持って紙面づくりに取り組んでおり、一部に市民参加型の内容を取り入れる事で、議会の一方通行ではなく市民も巻き込んだ紙面づくりがなされていた。

また、委員会での討論詳細や視察、研修の内容についても報告されており、議会の見える化が進んでいる印象を受けた。

本議会においても、市民活力を活かした取り組みは必要であり、今以上にわかりやすい紙面づくりを行うため大いに参考になった。

2 視察の成果及び市政への反映など

成果としては、まず議会報告会への望む姿勢の一層の涵養が大事であると感じた。それぞれの地域特性はあるにしても、「市民と議会」という二つの距離を近づけ、ひいては市全体の活性化につなげていく。その為に、議会が進んで市民に歩み寄り、議会人として議員がその責務を担うものとしてしっかりと行動で示していく重要性を改めて感じた。大分市議会の取組は、上記点に真摯に取り組んでおり「議会としてどうあるべきか」を考え、積極的な活動が伺えた。この点においては、本議会でも一体感を持って「議会」としての取り組みをより一層進めていく必要性を感じた。

議会だよりの取り組みについては、大分市議会では担当の事務局職員が一人おり、レイアウトなどを議会へ提案する事で、構成会議 2 回という少ない回数で発行を行っていた。この点は、広報広聴委員会でも回数を減らすための協議をしているため、参考になった。

しかしながら、議員自らの手ですべてを行っているわけではなく、構成についての細かな部分や悩みなどを、本議会と比較して共有できなかった点もあった。それでも、紙面そのものは、全頁カラーで作成されており、ポイントポイントにはカラーを活かした写真やイラストが配置され、見やすく充実した内容であることは大いに参考にすべき点である。

一方、熊本県玉名市議会では、本市の進め方に近い取組がなされており共有できるものもあった。特に、玉名市議会では、紙面のページ、内容ごとに議員が割り当てられており、担当委員だけでなく、全議員で取り組んでいる姿がうかがえた。

特筆すべきは、感想でも述べたように市民を巻き込んだ紙面づくりをしている点である。

一つ目は、市議会だよりの題字である。市内の児童・生徒に毎号ごとに題字を書いてもらっているのである。担当議員が自らの選定方法で市民を選び、お願いしているそうである。表紙の写真についても、担当の回ってきた議員の責任と裁量で決めていた。

二つ目は、巻末に市内 4 地区や学校から市民を選定して、議会への声を寄せるコーナーを設けている点である。選定、掲載されている方々は、地区長や民生委員、学生と各号ごとにかわり、中には議会などに対して厳しい意見も掲載されていた。この点は、市民と議会の距離を近づけるものであり、議会からの一方通行として紙面が作成されているのではなく、市民と議会相互に協力しながら作成するという素晴らしい取組であると感じた。本議会では、前々回よりはがきによる意見募集を始めているが、今後は、こういった市民参加型の取り組みを視野に入れながら、充実したわかりやすい紙面づくりを行う必要があると考える。

今回の視察は、広報広聴委員会としては、初めての視察研修であった。この 4 年間の本議会の取組が正しいのか、どのようなやり方がいいのか、悩みながら、議論を重ねながら取り組みをしてきた。今回の視察で、他議会の取り組み内容をじかに見聞きする事で、反省すべき点は去ることながら、自分たちの取組が間違っていなかったのだなと感じる場面もあった。この研修を糧に、更に充実した広報広聴活動を「議会として」取り組んでいけるように生かしていきたいと思う。

広報広聴委員会視察報告書

下山 隆史

大分市議会

1.視察の感想

大分市議会だよりは、写真や表を多く掲載し、とても見やすいというのが第一印象である。12ページ全面カラー刷りで、1段17文字×32行縦4段組。活字の大きさは新聞活字14ポイント、写植、オフセット印刷である。

平成21年度、親しみやすく、読みやすくするために紙面構成を見直したと伺った。

発行部数は、1号あたり約20万部、年間予算は約2千万円。発行のための広報委員会は、事務局が主体的に準備するため、毎号2回だけの開催で済むという。

2.成果、市政への反映等

議会の思いを伝える「クローズアップ議会 議会の目」の新設や、一般質問の一问一答の掲載様式などを含め、大分での研修を活かしていきたい。市民へのより良い「議会からの手紙」とするために、議会だより紙面全般について再度見直しをしていきたい。

1.視察の感想

大分市議会の市民意見交換会については、地区公民館等13会場で実施されている。開催の時間は、一部を除いて午後7時から8時30分までとし、テーマを設けて実施された年度もあるようだ。出席議員は、活性化推進会議委員、常任委員会委員、地元議員などを中心に構成されているが、意見交換会での班は編成せず、会場の指定もせず、議員各自の判断による参加となっている。

また、若年層の政治参加意識を喚起する目的で、平成23年度～27年度まで高校・大学・専門学校との意見交換を開催している。グループに分かれて、テーマを設けずフリーな意見交換会を高校13校・大学4校・専門学校4校で実施。

そして、大分市議会の意見交換会への市民の参加を促すための工夫も目を見張る。広報の手段として、議会だよりや市報及び議会ホームページ、自治委員への案内はもとより、街頭ビラ配り（中心市街地・郊外の商業施設・駅周辺）、ポスター作製、ケーブルテレビ等、モニター広告、議員が一人でも多くの市民の方へ呼びかける（ソーシャルメディアを活用）など、意見交換会成功への意気込みが感じられた。

2.成果、市政への反映等

高校や大学など若年層との意見交換は、学校との調整を図り、すぐにでも実施したいものである。可能であれば中学生までの若年層としたい。

若年層との意見交換のアンケート結果からは、66%が政治に対する意識が変わった、今後も参加

したいが60%であった。まずは議員の合意を図り実現を目指したい。

議会報告会の広報については、今回初めて高校・大学などに近くの報告会場への学生の参加とポスター掲載のお願いのため学校訪問を実施した。今後の広報手段としては、大分議会の街頭ビラ配りやケーブルテレビ等による方法も視野に入れながら、一人でも市民の参加が増えるための工夫に取り組んでいきたい。

玉名市議会

1. 視察の感想

玉名市の議会広報誌については、先進事例として定例会の翌月に発行とあったので、どのようにすれば実現できるのか興味をもって視察に出かけました。実際は、翌々月の1日発行となっていた。編集スケジュールは、本市とほぼ変わらないので、現在の15日発行を1日にすることは可能ではなかろうか。もちろん各議員や印刷社の協力があってのことである。

玉名市の議会だよりには市民の参加があり、開かれた議会を目指しておられることが窺える。表紙の題字「たまな市議会だより」を市内の小中学生に依頼し、最終ページに「市民の声」を設けている。市民の声は、委員会で毎回のテーマを決め、市民の方に寄稿してもらっている。

2. 成果、市政への反映等

議会だよりの市民参加というコーナーは、身近で親しめる議会だよりとして有効であると思う。今後、開かれた議会という意味からも、多くの市民に読んでもらうためにも市民参加の議会だよりにするべきであると考え。ページ数増や予算も考えながら委員会でも研究していきたい。

平成29年広報広聴委員会研修報告書

委員名 永山 透

大分市「市民との意見交換会の開催等について」

1、 視察の感想

市議会基本条例を平成20年に制定して、市民との意見交換会を開催している。意見交換会への議員の出席は割り当てでなく各議員が希望して出席している。特に広報は多岐にわたり、「市報・議会だより・ポスター・議会ホームページ・ケーブルテレビ・テレビスポット・各市民センターに設置されたモニター広告・新聞の無料イベント告知枠・民放番組のイベント告知枠・各自治委員への開催案内の送付等」にわたっており、議会の本気度が伝わり参考になった。

また、若年層との意見交換会（平成23年～27年）は高校、大学、専門学校で定期的に行っており、議会の仕組みを説明した後に、グループに分かれてフリーな意見交換会を行っている。対応は出席を希望する議員が行っており、若い人の貴重な意見が参考になったとのことであった。議会だよりは昭和49年より年4回発行しており、議会事務局に専任の職員を配置して広報委員会と相談しながら編集している。

2、 視察の成果及び市政への反映

意見交換会は全13地区公民館で行っており、議員の出席地区を特定することなく、希望する議員が何か所でも出席できるようにしている。又、意見交換会の広報はあらゆる手段を講じており、テレビ・ケーブルテレビ・新聞等を利用することは都城市でも大事なことであると感じた。又、高校・大学・専門学校の生徒との意見交換会を積極的に行っており、都城市の議会としても検討は行ったが、要望があれば行うとのことであり、逆に広報広聴委員会より積極的に働きかけて若年者との意見交換会を行うことが必要と感じた。今後、研修の成果を検証して提案していきたい。

平成29年広報広聴委員会視察報告書

委員名 永山 透

熊本県玉名市「議会広報誌の作成について」

1、 視察の感想

議会だよりは16ページを基本として、2色刷りにて25,700部を発行している。発効日は定例会の翌々月の1日（2月1日・5月1日・8月1日・11月1日）に発行している。議会報編集特別委員会の構成は8名、編集委員会開催はわずか4回開催して議会報を発行している。3・4回目の校正作業には事務局、印刷業者が出席して詳細を詰めて決定していくことでスピードアップを図っている。質問原稿は編集委員より既定の原稿用紙を渡して依頼する。一般質問の回答は執行部が執筆する。印刷業者との構成はデータをメールでやり取りして時間の短縮を図っている。特筆は、議会だよりの表紙の「議会だより」の文字は市内の中学生に個別に依頼して、毛筆にて書いてもらっているとのことである。

2、 視察の成果及び市政への反映

議会だよりの発効日が毎回翌々月の1日と短期間に編集されることに興味があった。広報委員会の開催は変わらないが、3・4回目の開催時に印刷業者を同席させることにより、広報委員会での議論が印刷業者に直接伝わり、事務局職員の負担が減り、期間短縮につながるものと考えられる。又、表紙の「議会だより」の文字を中学生に依頼して行うことは都城市でも取り組んで若年者の議会に対する興味がでるのではと感じた。ぜひ提案していきたい。

広報広聴委員会行政視察報告書

公明党 佐藤 紀子

- 市民との「意見交換会」の開催等について
- 議会広報誌の作成について

(大分県大分市) 平成 29 年 7 月 25 日(火)

- 議会広報誌の作成について

(熊本県玉名市) 平成 29 年 7 月 26 日(水)

1 視察の感想

大分市議会では、市民の多様な意見を把握し、市政に反映させ、市民と一緒にまちづくりの活動に取り組むため、平成 20 年 7 月より、「市民意見交換会」を開催している。市内 13 カ所の地区公民館等で、「議会からの報告、市議会及び市政への意見」をテーマとし実施している。

出席議員は、活性化推進会議委員、常任委員、地元議員などを中心に構成されている。「市民意見交換会」を開催するに当たっては、様々な手段を使って、市民への周知を図っている。例えば、議会だより・市報・議会のホームページでの広報はもちろんのこと、ポスターの作成、また議員自ら、駅周辺や郊外の商業施設での街頭ビラ配りにも取り組まれている。また、ソーシャルメディアを活用し、議員が一人でも多くの市民への呼びかけに取り組んでいる。

また、若年層の政治参加意識を喚起するために、高校、大学（短期大学を含む）専門学校を 3 つに区分する中で、各 1 校以上と意見交換を行っている。議員が開催校に出向き、グループに分かれ、学生から意見を自由に語ってもらい、それに議員が答える形で意見交換を行っている。この若年層との意見交換は、大変有意義な取り組みだと感じた。ちなみに、平成 27 年度の実績は、5 校で 163 名の参加者である。

「おおいた市議会だより」については、平成 20 年 7 月に開催した市民意見交換会において、様々な要望が出され、市議会だより編集委員会で内容の検討が図られた。平成 21 年 3 月から、外部の専門家 2 名を交えて見直しに着手されて

いる。議会活動を分かりやすくするための工夫や、市民に親しみやすいものにするための工夫等に取り組みられたとのことである。

主な改正点としては、議会の仕組みが理解できるよう、議会用語の解説コーナーを作ったり、議会の会派や委員会が分かりにくいという声に応え、「顔が見える」をキーワードに会派や委員会を紹介するページを作られている。また、親しみやすく、手に取りやすいように写真やイラストを増やすなど、工夫をされていた。

玉名市議会においては、市議会だよりについて、要項等は設けていないが、玉名市議会報発行に関する申し合わせに基づき議会報を編集されている。

玉名市では、市の広報誌「広報たまな」には議会関連の記事はほとんど記載されておらず、広報誌との調整は必要ないが、表紙の写真が重なりそうな場合は、確認をするということであった。

議会だよりの市民参加について取り組まれており、議会報の最終ページに「市民の声」を設けている。毎回委員会でテーマを決め、そのテーマについて市民の方に寄稿してもらっている。また、傍聴者の声として、議場傍聴席に「ご意見箱」を設置し、投稿があれば委員会で検討し、議会報に掲載している。議会報表紙の題字「たまな市議会だより」は、表紙写真担当委員が、市内の小中学生に依頼し書いてもらっている。

このように議会報への市民参加について様々取り組まれており、市民に親しまれる誌面づくりを工夫されていた。

2 視察の成果及び市政への反映等

今回、広報広聴委員会として、大分県大分市や熊本県玉名市を視察させていただき、他の自治体の「市民との意見交換会の開催等について」や「議会広報誌の作成について」研修し、大変勉強になった。

大分市では、平成 23 年度から若者の政治参加意識を喚起することを目的に若年層との意見交換会に積極的に取り組まれており、本市でも是非取り組むべき課題だと思った。また、選挙権年齢が 18 才以上に引き下げられたことを記念して、大分市高校生市議会を開催するなど、若者に政治に対する関心を促す取り組みをされており、市議会として意識の高さを感じた。

玉名市では、議会だよりの市民参加を様々工夫されており、特に小中学生が書いた表紙の題字がとても堂々とした字で印象に残った。この視察で得たことを次号からの本市の議会だよりに活かしていきたいと思った。

都城市議会議長 様

提出日 平成 29 年 8 月 14 日

委員 福島 勝郎

広報広聴委員会行政視察報告書（感想等）

委員名 福島 勝郎

1 視察の感想

7月25日から26日まで広報広聴委員会で大分県大分市役所「市民との「意見交換会」の開催について」「議会広報誌の作成について」と熊本県玉名市の「議会広報誌の作成」について行政視察した感想をします。

大分市「市民との意見交換会の開催」について、市内13か所の公民館で、本市と同様の1時間30分ぐらいで行ってまいりました。

市民との意見交換会のほかに若年層との意見交換会も年に5回開催されています。

高校・大学・専門学校の学生を対象にグループでの討議で、意見交換会が行われ議会の仕組みや議会に対しての質問、市政に対して意見交換ができていけるのには、感心しました。なお、23年度から若者の政治参加意識を提喚起することを目的にしておき、27年度は選挙年齢が18歳以上に引き下げられたことにより高校生議会を開催してまいりました。開催内容は、各高校から議員を選出し、高校生議長の議事進行により「私が住みたいまちづくり」をテーマに高校生が一般質問を行い市長が答弁し、その後市議と意見交換会を行ったと聞きました。

広報については、議会だより、市報、議会ホームページ、街頭ビラ配り(中心市街地・郊外の商業施設・駅周辺)、ポスターの作成、ケーブルテレビ等、モニター広告、自治委員への案内、議員が一人でも多くの市民の方へ呼びかける(ソーシャルメディアを活用)し多くの市民に対して参加の働きをした概要を聞きました。

議会だより内の一般質問の原稿は、17行で本文の行数になっており、行間も見やすく読みやすくなっていました。

広報誌は年4回と臨時号を1回発行しており、ページ数は、12ページで年1回16ページがあり、年間予算も19,779,288円でページ単価も1.78円と都城より安いと感じました。

2. 熊本県玉名市の「議会広報誌の作成」について

玉名市は、議会報は内容及び・用語は正確でわかりやすく編集し、下下祖ある紙面づくり、レイアウトの工夫、イラスト、写真、グラフ、地図の多様等、読みやすい紙面づくりに心がけていました。

議会だよりの年間予算は、2,937,000円でページ数は、16ページ・2色刷りで23.32円でした。

市民の声を252文字程度の原稿を最終ページに掲載されてまいりました。

2 視察の成果及び市政への反映等

1. 市民意見交換会について、市民に対しての意見交換会だけでなく、若者との意見交換会を年4回行っている、本市においても高校大学専門学校などとの意見交換会ができれば良いと思いました。

市民に対しての広報については、街頭ビラ配りを行っていること、中心市街地及び郊外の商業施設・駅周辺において議員がビラを配布していることは、本市においても今後の取り組みを参考にしたいと思いました。

2. 玉名市の「議会広報誌の作成」については議会だよりの最後に「市民の声を」4地区より地域の皆さんの声を載せていることです。今後は、本市においても様々な地域の声を載せる取り組みを参考にしたいと思いました。

広報広聴委員会行政視察報告書（感想等）

委員名 森 りえ

1 視察の感想

(1) 市民との意見交換会について(大分市)

市内 13 カ所で意見交換会を行っているが、議員の住んでいる地域の意見交換会に出席してもいいし、どこの会場に行ってもいいというのは地域の代表ではなく、「大分市」の議員であるということを考えると必要なことだと思う。ただし、意見交換会のルールとして議員個人への質問はしないというのは大事なことであると思った。

市議会意見交換会の広報の手段として、ポスターやちらしを活用することは大切であり、多くの市民に「意見交換会が行われている」ことを知らせる必要がある。

高校や大学、専門学校等については「来てもらう」のではなく「議員が出かけていく」ことも必要だと思う。若い世代に関心を持ってもらえるためには、各学校との連携をとり、放課後の時間や、可能であれば授業の一環として取り組めればいいと思う。

出された意見をしっかり返すことは当然だが、公民館に回答した文書をおく、ホームページに掲載するなど、誰でもその質問と回答に触れることができるのは必要なことではないだろうか。

(2) 議会だより作成について（大分市）

オールカラー版。一般質問は一問一答のみ。一般質問のページにも関連した写真が使われており、見易い。議会事務局が大きく関わっている。

常任委員会については小見出しの中に、何が審査されたのか特筆する内容が書いてあり、予算等の金額には触れてない。そうすることで市の広報と重複しない。

賛否一覧表には議員名だけでなく会派名もある。検討が必要。

(3) 議会だより作成について（玉名市）

割付がしっかりしてある。文字が大きく見やすい。

表紙と裏表紙以外は二色刷り。一般質問と回答の部分の色が変えてあるのでわかりやすい。一般質問者の写真は動画から持ってきてあるため動きがありわかりやすい。また、一般質問に関する写真が掲載されていて、一般質問に取り上げていることが具体化されていてわかりやすい。

表紙の写真、題字、市民の声の欄は担当議員が依頼をし、原稿を集めている。

委員会報告について小見出しがあり、何が検討されたのかがわかる。

予算等の数字はなく、わかりやすい。枠内に言葉の説明がある。

本会議での討論が要約して載せてあり、何が問題だったのかがわかる。

校正段階で印刷業者が入るので編成委員会の意見が通りやすい。

2 視察の成果及び市政への反映等

① 市議会だよりについて

大分市も玉名市も一般質問の表現がわかりやすい。写真が効果的に使われている。一般質問の中から抽出し、特にこれを市民に知ってほしいということを書くと文字だけではないので見やすくなると思う。

小見出しを有効に使い、「読んでみよう」という意識付けにする。

本会議での討論を載せることで、議案の何が争点になってたのかがわかるし、なぜ賛成したのか、なぜ反対したのかが明確化され、議会に対して関心を持ってもらえるのではないだろうか。

議会で何が話し合われたのかをはっきりさせるためにも、広報都城との違いを出すことが必要。

予算、決算の数字より、話し合いの結果が必要だと思う。

② 意見交換会

大分市では毎年すべての地域で意見交換会を行っており、意見に対する回答も議会が責任を持って行っている。

参加地域は特定されておらず、どの地域にも行けるし、自分の住んでいる地域にも参加して説明することは必要だと思う。

高校生や大学生を対象に議会報告会や意見交換会を行うことは必要だと思う。今回の都城市の議会報告会では各高校や大学等にポスターを持っていったが、計画的に各学校に行き、議会活動も含め政治に関心を持ってもらうような活動を行い、選挙に行ってほしいと思う。

議長名で各学校に依頼し、学習の一環として取り組めるようにできるといい。

広報広聴委員会行政視察報告書

委員名 畑中ゆう子

平成 29 年 7 月 26 日から 27 日に、広報広聴委員会行政視察に参加させて頂きました。

1、大分県大分市議会

- ・市民意見交換会の広報については、市報や議会だよりは勿論ですが、ポスターの掲示や街頭でのポケットティッシュつきのチラシ配布などが積極的に行われていました。議員自身が一人でも多くの市民の方に呼びかけることも、強調されていました。市民意見交換会で出された、意見・質問等が各委員会で検討されて、対応の経過をまとめた冊子を各公民館等で公表され、次の市民意見交換会で報告されていました。
- ・若者層との意見交換会は、各高校・大学・専門学校で開催され、「政治にたいする意識が変わった」66%と回答有り

2、熊本県玉名市議会

- ・市議会だよりの発行について
多いときは 20 ページ建てで編集されており、一般質問の内容まで議会を丸ごと知ることができる中身になっていました。
表紙の題字は子ども達の書道の作品で、写真で紹介されていました。
一般質問の議員の写真は動画のもので、動きのある表情のある写真が掲載されています。スペースも広く、写真の掲載がされてわかりやすい内容となっていました。
- ・視察の成果と反映できること。
大分市議会では、広報委員会の議員から、積極性と自主性が大事だと教わりました。意見交換会の開催も、要望のある公民館に優先して開かれるようです。市民からの意見・要望が、委員会で検討され、その内容などが丁寧に市民に説明されるという、双方向型の意見交換会の開催が参加者を増やしていく秘訣なのでは、と感じています。
玉名市議会では、市議会だよりが印刷業者も交えて作成されており、写真や編集など専門家のアドバイスが読みやすさにつながっているのではないかと思います。

以上。